




2021-2023年度 NHKエンタープライズ 中期経営計画

NHKエンタープライズは2022年12月、
新たに設立されたNHKメディアホールディングスの一員となりました。
その傘下で経営基盤を強化し、さらなる発展を目指します。

2023年3月23日修正版



新型コロナウイルスの感染拡大、
国家間の紛争や深刻化する気候変動など、
先の見えない不安が世界中に広がっています。

こうした時代こそコンテンツの力が試されます。

放送・インターネット・イベントなど、あらゆる機会を

とらえ、人々に情報と感動と夢を届け、

明日への活力、生きる力を甦らせる。

人と人をつなぎ、心と心を結ぶ。

Enterprises for All !

NHKエンタープライズは、新たな時代を
共に生きる社会へと変える力になります。



経営理念

Enterprises for All !

**冒険、創造、貢献。
社会のために、すべての人のために！**



私たちは今、大きな変化のただ中にいます。

デジタルシフトが急激に進み、

人々のコンテンツとの接し方は根本から変わりました。

また、NHKの衛星波削減と受信料値下げにより、

NEPは厳しい経営環境に向き合うこととなります。

しかし、事業規模が縮小する中でも、会社の質的向上に努め、

これまで以上に企業価値を高めていきます。

私たちは何をすべきか、改めて原点に立ち戻り、

NHKを支え、事業を通して社会に貢献します。

Enterpriseとは、企業という意味だけではありません。

変化を恐れない心、「冒険心」を持ち、

困難があっても新しいことを企て、大胆に挑戦するという意味を持ちます。

これが、NEPの精神です。

また、NHKグループの一員であるNEPの根本には

「公共」という概念があります。

世の中の役に立つ仕事をすることで、世界を明るくする。

人が困っていることを見つけて、解決に向けて取り組む。

社会に貢献することで、会社も私たちも成長します。



経営方針

いま、私たちには不確実で不安定な時代に立ち向かう覚悟と行動が求められています。

冒険

- ▶ フロンティア・スピリットを堅持し、変化を乗り越え未知の領域に踏み出します。
- 社員一人ひとりが、今やっていること・与えられたことの枠を超え、常に前進する会社をめざします。

創造

- ▶ 変革の時代に、新たな価値を生む創造に邁進します。
- 放送、デジタル、リアルイベントが一体となったサービスを全社で生み出し、NHKコンテンツの価値を高めます。
- DXをあらゆる部署で進め、経営資源の最適管理と成長分野への効果的な投入に取り組みます。

貢献

- ▶ 自社の利益に留まらない、すべての人の幸せを追求します。
- 持続可能な世界を実現するSDGsへの取り組みを、全社を挙げて推進します。
- 全国ネットワークを生かし、日本各地の発展に力を尽くします。
- 「多様な価値観に基づく多様な生き方・働き方」の実現をめざします。



重点項目

NEPの強みである、制作力、展開力、そして全国を結ぶ支社のネットワークを活用して、5つの重点項目に取り組み、すべてのステークホルダーの信頼と期待に応えます。

- ◆ **コア事業の革新 ～企業価値をさらなる高みへ～**
幅広い世代に訴求するコンテンツや社会に貢献する新たなサービスを創造。
選択と集中を一層進め、NHKブランドを向上させます。
 - ◆ **新規事業の開拓 ～“新しい何か”への挑戦～**
NHK業務で培ったノウハウを活用し、
社会にソリューションを提供する事業を開発します。
 - ◆ **地域サービスの向上 ～全国ネットワークで日本活性化～**
「オールNEP」で地域の魅力を全国・世界に発信。
イベントやインターネットも活用して視聴者リレーションを強化します。
 - ◆ **Smart Work ～人生をより豊かに～**
効率的・効果的で多様な働き方を実現できる
ダイバーシティ先進企業をめざします。
 - ◆ **SDGsへの貢献 ～人と人をつなぐ企業に～**
NEPのすべての事業でSDGs推進をめざし、
持続可能な社会の発展に取り組む個人・団体・プロジェクトを支えます。
- ※ 上記重点項目への取り組みに当たっては、各部署でKGI・KSF・KPIを設定し、目標達成に向けた進捗管理を行います。



コア事業の革新 ～企業価値をさらなる高みへ～

幅広い世代に訴求するコンテンツや社会に貢献する新たなサービスを創造。
選択と集中を一層進め、NHKブランドを向上させます。

制作と展開の一体推進

- 全ての制作過程で生産性向上につながる改革を推進。
NHKと視聴者を強く結びつける国民的人気番組や若者からも支持されるコンテンツを開発します。
- 2025年の放送100年に向けて、世界最先端の撮影・CG技術を駆使したシリーズ番組や国際展開も視野に入れた超大型ドラマを4Kで制作・発信し、NHKブランドの価値を高めます。
- 展開事業を活性化します。
- アニメ事業を、グローバル市場を見据え積極的に展開します。
- 「忍たま乱太郎」「魔入りました！入間くん」など、NHK番組から派生した2.5次元イベントをリアル&オンライン型に進化させるなど、ライブエンターテインメント事業でリーチを拡大します。
- 3DCG、AR、VR、メタバースなど最新のデジタル技術を駆使して、NHKグループが保有するIP（知的財産）の価値を最大化します。
また、NEPがIPを保有するコンテンツの制作に積極的に取り組みます。

経営資源の選択と集中

- 全ての事業をゼロベースで見直し、注力する分野と縮小・撤退する分野を仕分けし、構造改革を断行します。
- コンテンツ制作力を一層強化するために、新たな映像表現や撮影技術の開発、人材育成に、積極的に投資します。



新規事業の開拓 ～“新しい何か”への挑戦～

NHK業務で培ったノウハウを活用し、
社会にソリューションを提供する事業を開発します。

- 最先端のAI技術で音声を手話CGに変換するシステムを開発・実用化し放送やインターネットでのユニバーサル・サービスを進めます。
 - NEPが開発した8Kの最先端技術を活用して、新たな映像文化を切り拓きます。
 - NEPビデオストアサービスの活用をさらに進め、4Kコンテンツによる放送を充実させ新たな事業の開発にも取り組み、貴重なアーカイブスを社会に還元します。
 - 中間持株会社の傘下団体としてグループ会社の力を結集し、エデュテインメントや斬新な演出のデジタルライブなど新次元のイベントを開発し、5G時代の新たな文化創造に挑戦します。
 - 大学など教育機関のオンライン授業にNHKの映像資産を提供し、“NHK離れ”が加速する若い世代の学びを支えます。
-

地域サービスの向上 ～全国ネットワークで日本活性化～

「オールNEP」で地域の魅力を全国・世界に発信。
イベントやインターネットも活用して視聴者リレーションを活性化します。

- 国民の安全と安心を守る番組制作や新たな防災イベントを展開します。
- あらゆるジャンルの番組で、デジタル、リアルイベントへの展開を推進し地域に役立つ情報・サービスを確実に届け、NHKの存在感向上に貢献します。
- 地域の活性化をめざす、さまざまな事業や活動を支援し、豊かな社会の創生に貢献します。
- 本社と支社の人材交流を推進し、全国ネットワークを強化します。
- ウィズコロナ時代の世界を結ぶ新たな空間を創造し、大阪万博に結実させます。



Smart Work ～人生をより豊かに～

効率的・効果的で多様な働き方を実現できる
ダイバーシティ先進企業をめざします。

- 新たに導入したERPやRPAを活用し、
全職場で業務を効率化し、管理を高度化します。
 - “人財開発”に全社で取り組み、社員に挑戦と成長の機会を提供します。
リモートワークの環境整備も進め、仕事と育児・介護との両立、
多彩な人材がより創造性を発揮できる場を支えます。
 - コンプライアンスの遵守と内部統制強化に努め、
社員一人一人が企業倫理を重んじ、社会の信頼に応えます。
 - 中間持株会社の経営戦略を迅速に実行して、傘下団体の管理業務の統合や
資源管理、内部統制強化に取り組み、スリムで効率的なグループ体制の確立に
貢献します。
-

SDGsへの貢献 ～人と人をつなぐ企業に～

NEPのすべての事業でSDGs推進をめざし、持続可能な
社会の発展に取り組む個人・団体・プロジェクトを支えます。

- グループ会社間の連携を強化し、健康・教育・文化芸術、
また地球環境問題などの分野でSDGs達成に役立つ事業を創出します。
- 紙・プラスチックや電力の消費量を削減します。
また、番組制作過程で出るCO2をロケの効率化や機材の省電力化などで削減し、
アルバート認証の取得をめざします。
- 全社員が社会と身の周りの課題に目を向け、
改善・解決に取り組む企業風土を確立します。

2021-2023年度 収支計画

* 2021年度は決算。2022年度は決算見込み。2023年度は事業計画。

	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	620億円	682億円	644億円
純利益	15.1億円	39.7億円	26.6億円

- 2022年度純利益については上方修正する可能性があります

※本計画は、社会・経済情勢の変化などに応じて見直すことがあります。